

**2017 年度
社会貢献活動報告書**

2018.4 発行
2018.6 修正

2017 年度社会貢献部活動報告書発行にあたり

花王グループは、花王ウェイ（企業理念）を基本に、豊かな生活文化の実現に向けて、「次世代を育む環境づくりと人づくり」をテーマに活動を継続してきました。2012 年からは、「環境」「教育」「コミュニティ」の分野に重点をおき、企業市民として社会の基盤を支え、より良い社会づくりに貢献していくために活動を行なっています。

また最近では、グローバルな事業展開にともない、社会の基盤を支える「企業市民としての活動」とともに、事業の拡大につながる「事業を通じて社会へ貢献する取組み」が求められており、双方での貢献が期待されています。

それぞれの活動が一体となり、1 つの方向をめざし、社会のサステナビリティへ貢献していくことが重要です。そして、花王らしい活動を通じて、グローバルな社会課題の解決に貢献していくことが、結果として、花王の企業価値の向上へつなげると考えています。

今後は、2020 年に向けて、社会貢献部の活動の全体像を整理し、花王グループ全体で社会貢献活動の理念を共有してまいります。

本報告書では、2017 年度社会貢献部の活動の振り返りと、国内事業場、国内外花王グループ各社も含めた主な活動について総括いたしました。ご一読いただき、花王グループの社会貢献活動の全体像と各活動をご理解いただけましたら幸いです。

2018 年 4 月
花王株式会社

－ 目次 －

1. 2017 年度社会貢献部活動報告書発行にあたり	1
2. 2017 年度活動トピックス	2
3. 社会貢献活動全体像	4
4. 環境	5
5. 教育	7
6. コミュニティ	11
7. 社員参加型の活動	14
8. メセナ支援	17
9. 東日本大震災への対応	18
10. 災害支援	20
11. 国内事業場、国内外グループ会社の主な地域貢献活動	21

2. 2017 年度活動トピックス

2017 年度は、花王グループのサステナビリティの方向性を鑑みながら、サステナビリティの捉える重点課題、特に「清潔・衛生」の領域に、社会貢献活動としてどのように関わられるかを考えながら、活動を進めてまいりました。

コミュニケーション視点では、非財務活動のキーワードである「きれい」を軸に、それぞれの活動を再構成し、社内外への発信を強化しました。

- ①子ども達が正しい生活習慣を身につけ、安心して成長できる支援（きれいの主役）
- ②科学技術で未来を拓く人財育成（きれいで変化をつくる人財づくり）
- ③生活文化の基盤づくり（きれいな社会づくり）

それぞれの活動に対する、花王の思いや取り組みの背景などを伝え、花王グループが、「きれい」に関連する活動を通じてより良い社会づくりを目指す企業であることを理解いただき、企業イメージの価値向上と共感を得ることにつとめてまいりました。

また、2015 年に国連で、持続可能な社会の実現に向けた国際統一目標である「SDGs（持続可能な開発目標）」が採択され、企業も多様な組織との協働を通じて、その達成に向けての行動を求められています。花王の事業領域での社会貢献活動を通じて、達成に向けて取り組んでまいりました。

●学校教育における衛生啓発活動

子ども達が正しい生活習慣を身につけ、安心した毎日を過ごせることを目指して、学校教育を通じた衛生の啓発活動を行なっています。

ベトナムでは、ユニセフの行う「学校衛生プロジェクト」を支援しています。ベトナムは事業展開国ですが、経済格差が大きく、支援地域であるアンザン省は経済的に厳しい農村地域です。2020 年迄に 60 校 35,000 人の児童への支援を目指して活動を行っています。

花王の支援が 3 年目となる 2017 年は、学校のトイレや手洗い施設の改善も進み、児童の手洗い習慣も定着してきました。さらには、児童達を通じて、近隣地域の家庭のトイレ環境なども整備され、確実に成果が出てきています。

このプログラムは、SDGs の 17 の目標の中で、4「教育」、6「安全な水と衛生」、17「パートナーシップ」に寄与する活動として進めています。

ベトナムは事業展開国でもあるため、花王ベトナムの地域貢献活動として、支援している学校でのお洗濯講座も実施いたしました。

国内では、花王が蓄積した様々な生活情報を活かし、社員が講師となり「手洗い講座」「おそうじ講座」などの出張授業を行っています。2017 年は、843 名の社員が講師として参加し、145 校で実施しました。



●女子小中学生に向けた初経教育の支援拡大

花王は1978年の生理用品の発売以来、30年以上にわたり、女の子が正しい知識を身につけて、安心して初経が迎えられることを目的に初経教育を行なってきましたが、2017年からは、サニタリー事業部と連携し、日本全国の20,000校の全小学校を目標に、初経教育の啓発活動を行えるよう体制を整えました。公益財団法人日本学校保健会を通じて、養護教諭に取組みの情報をお知らせしています。また、児童への啓発冊子や商品サンプルの他に、養護教諭が授業で活用できるようDVDなどの教師用の教材もあわせて提供しています。2017年度は11,250校からご要望をいただきました。

海外でも、花王中国や花王ベトナムで同様の啓発活動を行っています。初経教育は、SDGsとの関わりも大きく、開発途上国の女子の教育支援にもつながることから、NGOや国連機関と連携しながら、今後活動を広げていきたいと思っております。



●社会起業家支援

2010年から、花王社会起業塾の活動をスタートしましたが、さまざまな社会課題が山積する中で、イノベティブな発想で解決方法を示す社会起業家の役割は、年々大きくなってきています。これまでは、「家族」を取り巻く社会課題の解決に取り組もうとする若手社会起業家を対象に、子どもの貧困、教育格差、ワーク・ライフ・バランス、障がい者の自立などのテーマで、社会起業家の支援を行なってまいりました。



2017年度からは、持続可能な社会を次世代に引き継ぐために、社会の変化に対応し、多様な新しい視点でよりよい暮らしや働き方を創ってきたいという思いを強め、テーマを「新しい生活文化をつくる」に変更しました。社会起業家ともに、少子高齢化、過疎化、女性の自立など、現代社会の抱える課題をとらえ、事業にも価値を提供できるよう進めてまいります。

⇒詳細は、12頁参照

●社会貢献活動実績調査・社会貢献活動費実績

日本経団連の要請に基づき、花王グループの社会貢献活動を把握するため、国内外の各関係会社・事業場・担当部署に「社会貢献活動実績調査」を行っています。その結果、2017年度は、社会貢献活動費（含む寄付金）は、花王グループ全体で13億7,200万円となりました。

3. 社会貢献活動全体像

<テーマ>

次世代を育む環境づくりと人づくり

<活動方針>

- ・次世代の育成に役立つ活動を行います。
- ・地域の社会・文化の発展に貢献することを目指した活動を行います。
- ・持続可能な社会に向けて、環境を守り育てる活動を行います。
- ・社会的支援として、バリアフリー社会を推進する活動を行います。
- ・花王の持つ資源を有効に活かせる活動を行います。
- ・一人ひとりの社員が良き市民として、社会的活動に参加できるような風土をつくります。

<全体像>

次世代を育む 環境づくりと人づくり

より良い環境を次世代に引き継ぐために、環境保全のみならず環境を守り育てる人づくりを両輪で推進します。

未来を担う子どもたちのために、花王のリソースや強みを活かした活動を推進します。

多様なコミュニティと共により良い社会を築くために、地域社会やNPO・NGOと連携した活動を推進します。

環 境

教 育

コミュニティ

社員参加型の活動

メセナ支援

公益財団法人 花王芸術・科学財団

花王芸術・科学財団は、芸術文化と科学技術への助成及び研究者の顕彰等を通じて、日本の芸術文化と科学技術の振興及び発展向上に寄与することを目的としています。

<http://www.kao-foundation.or.jp/>

4. 環境

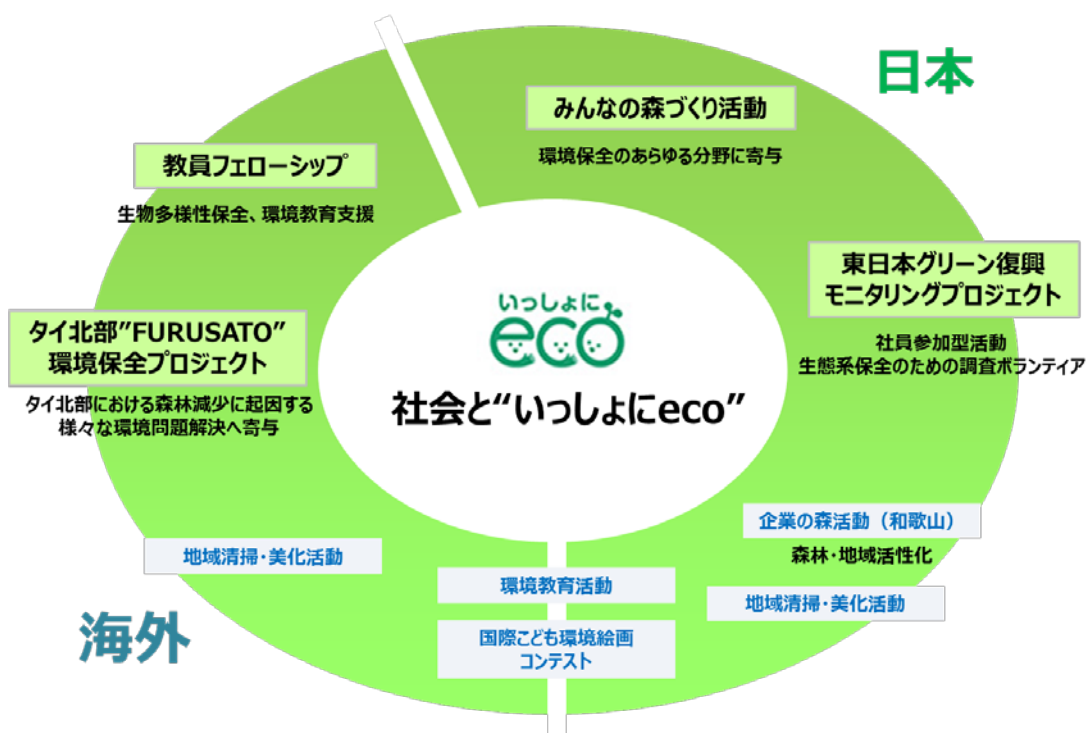
<テーマ>

より良い環境を次の世代に引き継いでいくために、環境保全のみならず環境を守り育てる人づくりを両輪で推進します。

<具体的なプログラム>

「環境」の活動として、「花王みんなの森づくり活動」を展開しています。また、被災地支援となる社員参加プログラムとして「東日本グリーン復興モニタリングプロジェクト」も実施しました。

<社会と“いっしょにeco”全体像>



※「タイ北部“FURUSATO”環境保全プロジェクト」は2012年～の5年間で活動を終了。

連携して活動を行なっている公益財団法人オイスカと、適切なフォローが行われるよう検討中。

花王みんなの森づくり活動

緑豊かな環境づくりと、その環境を次世代に引き継ぐための環境を守り育てる人づくりを行なうプログラムで、社会と“いっしょに eco”の柱となる活動です。

全国から森づくりや環境教育に取り組む NPO・市民団体を公募し、「森づくり分野」と「環境教育分野」合わせて、毎年 20 件程度を選定し、3 年間継続して支援します。支援先には、花王からの助成金を活用していただくほか、支援先同士や花王との交流の機会を設け、活動のさらなる広がりを支援しています。

プログラムは、公益財団法人都市緑化機構と協働で運営し、2000 年から 2017 年に支援した団体数は累計で 447 件となりました。これは、都道府県が把握する森づくり団体数約 3,000 の 15%弱になっています。また、環境保全活動を通じて、現代の地域社会の抱えるさまざまな課題を解決し、地域のより良いコミュニティ形成にも寄与しています。



<2017 年度の活動>

・21 団体（2016 年度助成決定団体）の支援を開始。助成 2 年目、3 年目の団体の活動状況を確認した上で助成継続。

東日本グリーン復興モニタリングプロジェクト

東日本大震災で津波による被害を受けた干潟、田んぼでの生物多様性保全に関わる調査研究（主催：認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン）へ、社員がボランティアとして参加し、調査研究のサポートを行なうことで、被災地復興支援、生物多様性保全、社員の生物多様性保全への理解促進をめざしています。

<2017 年の活動>

2017 年度：社員 10 名が 5 プロジェクトに参加

2013 年～2017 年累計：48 名参加

参加した社員の声：

「社内でも環境、生物多様性といったキーワードはよく目にしますが、実際に現地に行って生き物に触れ、研究者や地元の活動家の方の生の声を聞くことで、自分自身の意識は大きく変わったと感じました。今後もこの体験を日ごろの雑談の中などで多くの方に伝えていきたいと考えています。」

「これらの調査は人海戦術的に成り立つものなので、多くの方のボランティアや協力が必要だと思います。機会があれば、次回もぜひ参加してみようと思いました。」



5. 教育

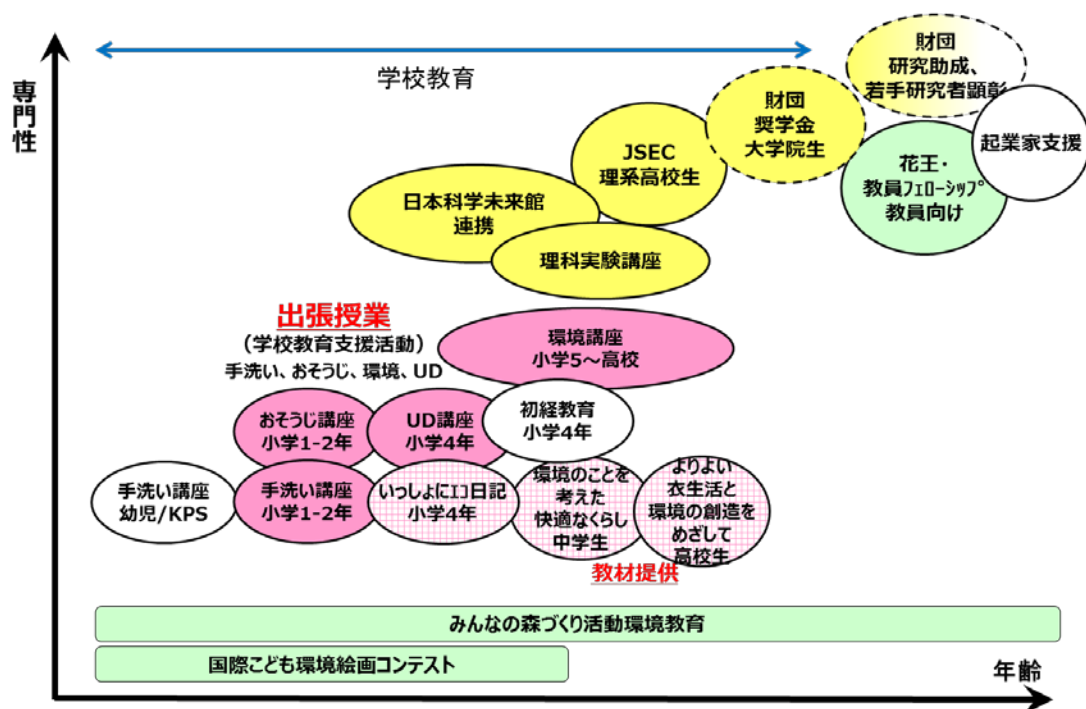
<テーマ>

未来を担う子どもたちのために、花王のリソースや強みを活かした活動を推進します。

<具体的なプログラム>

「教育」の活動として、「理科教育支援」「花王・教員フェローシップ」を展開しています。また、社員が講師となって参加する「出張授業」が幅広く展開され、関連した教材提供も実施しています。

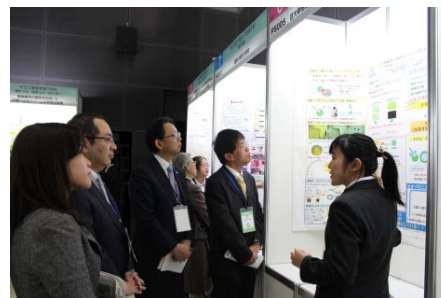
<「教育」の活動の全体像>（日本）



理科教育支援

「JSEC（高校生科学技術チャレンジ）」は、高校生のための科学と技術の自由研究を競うコンテスト（主催：朝日新聞社・テレビ朝日）で、花王は 2005 年から協賛し、花王賞と花王特別奨励賞を贈呈しています。賞の選定にあたっては、社内で事前審査を実施し、最終審査会で高校生のポスター発表を聞いた上で決定しています。また、事前審査の際の研究者からのコメントを高校生にフィードバックし、研究の一助にしてもらっています。

花王賞受賞校には、米国での国際大会への出場資格が与えられ、花王特別奨励賞受賞校には、花王の研究者との交流機会「スタディツアー」が贈られます。これまでの累計で 21 校に賞が贈られました。



<2017 年度の活動>

・花王賞と花王特別奨励賞を贈呈

花王賞	「“副実像”の写像公“副実像”の写像公式化の研究 ～定式化のための行列の特定と可視化～」 熊本県立宇土高等学校 成松紀佳さん、小佐井彩花さん、高田晶帆さん
花王特別奨励賞	「巨大単細胞生物オオバロニアの生存するための工夫」 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 岡部菜々子さん 「不思議な集団生活をいとなむカスミカメムシから謎の器官を発見？ ～長崎市 R D B 希少種ソデフリカスミカメをめぐる生態学と形態学的新知見～」 長崎県立長崎西高等学校 池田菜々子さん、本村佳凜さん、田川晶悠さん

・2016 年受賞 3 校の生徒・教員をすみだ事業場に招いてスタディツアーを開催（2017 年 3 月実施）

アンケートより（抜粋）：

・研究発表では、研究者の違う分野の視点からも意見をいただいたり、発表の仕方の面でもアドバイスいただけて、大変参考になった。また自分たちの研究だけでなく、もっと幅広い現代社会のことなどの意見交換もできて、大変有意義な時間だった。

・部屋にこもって実験するという研究のイメージを変えることができた。お客様の声にこたえるために、感覚的な視点を大切にすることによって驚き、刺激を受けた。

花王・教員フェローシップ

生物多様性保全の大切さを次世代に伝えることをめざして、小中学校の教員を対象に、海外の野外調査プロジェクト（主催：認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン）へボランティアとして参加する機会を提供するプログラムです。教員が現地で得た自らの体験や感動を、学校や地域での環境教育で活用いただいています。環境教育の実践者である教員に参加いただくことで、子ども達や地域への広い波及効果を期待しています。

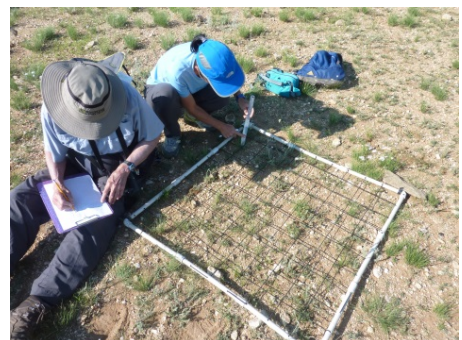
2004年からの累計で75プロジェクト、148名を支援しました。

参加した教員の声：

- ・「調査や活動そのものだけでなく、そこよせる思いや価値を認めること、地道な活動の積み重ねの大切さを伝えていきたい」（東京都・小学校教諭）
- ・「地球上で起こるさまざまな現象を、体験や観察を通してより深く理解し、地球の素晴らしさを伝えていきたいと思うようになった。」（東京都・中学校教諭）
- ・「他者を受容する姿勢、違いを認め、それらを生かして生活することの大切さを伝えていきたい。」（兵庫県・中学校教諭）

<2017年度の活動>

- ・10名が5プロジェクトに参加
- ・活動報告会を花王社内にて開催（2017年11月18日）
- ・参加教員は、担任の枠を超えて学年や学校全体での報告を実施。これらの経験と環境教育の実践について、活動報告会を通じて情報を共有



出張授業

子どもたちの「生きる力」の向上につながることを願い、花王の事業とかがわりの深い「清潔」「健康」「環境」分野での出張授業を実施しています。社員が講師となって学校を訪問し、「手洗い講座」「おそうじ講座」「環境講座」「UD 講座」を行なっています。

<2017 年度の活動>

出張授業 4 講座 計 145 校で実施。受講児童数 10,834 人、参加社員数約 843 人

手洗い講座	小学校低学年	99 校／7040 人（参加社員 572 名）
おそうじ講座	小学校低学年	28 校／2149 人（参加社員 182 名）
環境講座	小学校高学年、中高生	17 校／1630 人（参加社員 87 名）
UD 講座	小学校 4 年	1 校／15 人（参加社員 2 名）



その他の活動（教育）

●教材提供

授業で使える教材として、「清潔」「健康」「環境」分野での教材を提供しています。2017 年度より、高等学校家庭科向けに、新教材「よりよい衣生活と環境の創造をめざして」を開発し提供を始めました。

<2017 年度の活動>

教材提供計で 3188 校に提供。

手洗い講座	小学校低学年	2155 校
おそうじ講座	小学校低学年	32 校
いっしょにエコ日記	小学校 4 年生	617 校
環境のことを考えた快適な暮らし	中学校家庭科	193 校
よりよい衣生活と環境の創造をめざして	高等学校家庭科	191 校

●教育関係者への研修会 5 回

●理科実験講座

学会、未来科学館との連携などを通じて、研究員による講話や理科実験講座を実施しています。

<2017 年度の活動> 5 回実施、講師として社員計 10 名が参加

6. コミュニティ

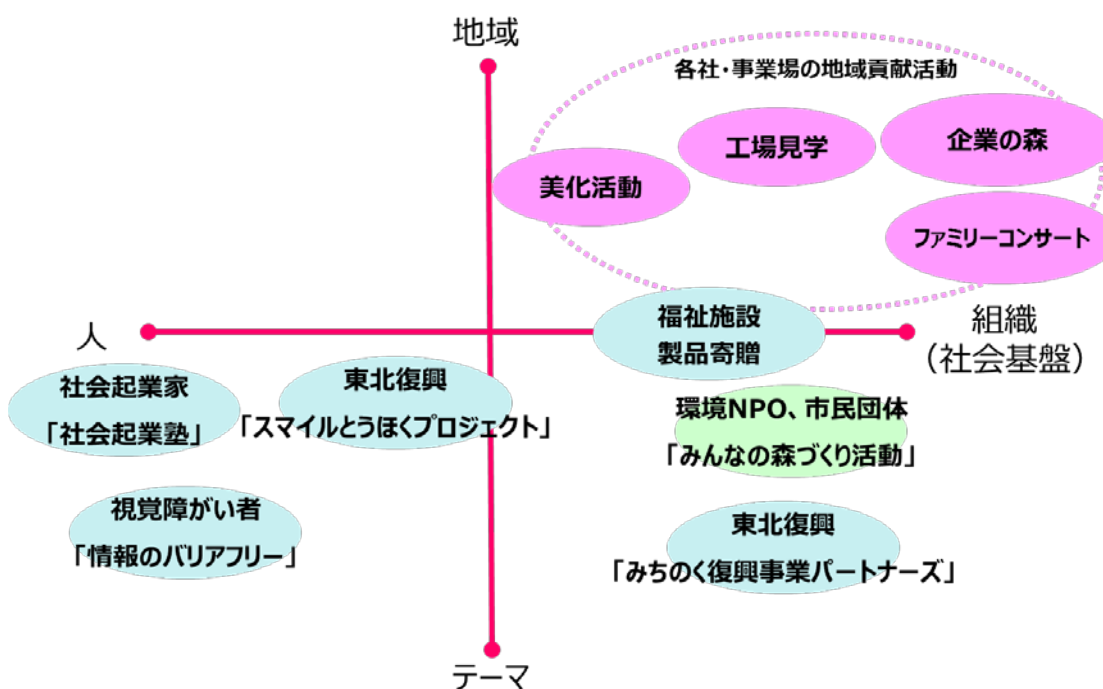
<テーマ>

多様なコミュニティとともに、より良い社会を築くために、地域社会や NPO・NGO と連携した活動を推進します。

<具体的なプログラム>

「コミュニティ」の活動として、「花王社会起業塾」「花王ファミリーコンサート」などを展開しています。また、花王の社会貢献活動の出発点でもある「情報のバリアフリー」の活動、滞留品を有効活用する「福祉施設製品寄贈」なども実施しています。

<「コミュニティ」の活動の全体像>



※本図は2017年末現在の活動に基いて制作

花王社会起業塾

持続可能な社会を次世代に引き継ぐため、次世代を担うリーダーである若手社会起業家の育成支援に取り組んでいます。

このプログラムは、次世代の社会起業家を育成・支援する「特定非営利活動法人ETIC.（エティック）」との協同事業です。公募・選考・プログラム運営等は、複数企業が連携して支援する「社会起業塾イニシアティブ」*を通じて行なわれており、対象となった起業家には、約半年の期間中に、専門家や先輩起業家によるアドバイスを受ける機会を提供し、事業を軌道に乗せ、成長させるための支援を行ないます。2010年から2017年までに23組の社会起業家を支援しました。また、社員と社会起業家との交流を通じ、社会課題への理解を深めるとともに、「起業家精神」を社内に吹き込むこともめざしています。



* 花王のほか NEC、株式会社 NTT ドコモおよび株式会社 NTT ドコモ・ベンチャーズがオフィシャルパートナーとして参画しています。

<2017 年度の活動>

豊かな生活文化の実現をめざす花王では、これまでの「家族を取り巻く課題」の解決に取り組む社会起業家から、「これからの新しい生活文化をつくる」というテーマを新しく設定し、社会の変化に対応し、新しい視点で未来のよりよい暮らしに向けた基盤づくりに取り組む若手社会起業家を支援することといたしました。

2017 年度支援対象起業家

- ① 荒木 智子 さん（一般社団法人 WITHs 代表理事）
事業テーマ：「産前産後女性への切れ目のないリハビリテーションサポート」
- ② 佐藤 可奈子さん（雪の日舎 代表）
事業テーマ：「里山と女性、農業と保育をつなぐことで、日本の農村を未来につなぐ」
- ③ 伊達 文香さん（株式会社イトバナシ 代表取締役）
事業テーマ：「itobanashi～途上国の女性と先進国の女性をファッションでつなぐ」



・10月27日、2017年度新しく支援が決定した社会起業家3組の紹介と昨年度の卒塾生2組の修了報告を合わせ、社員と意見交換をする「オープンダイアログ」をすみだ事業場で開催し、33名が出席。

参加した社員の声：

「起業した熱い思いを知り、熱い思いを直接伺うことができ大変刺激になった。」「起業家の活動を知り、改めて自分の仕事や花王の事業について、社会貢献という立場で振り返る機会になった。」



花王ファミリーコンサート

事業場立地地域での地域貢献活動として、地域の方々に質の高い音楽に親しんでいただく機会を提供するとともに、学校教育への支援を行なっています。コンサートは、一流のアーティストを招聘し、事前準備や当日の運営を社員が担っています。チケット（1,000円/1枚）の収入は全額、地域の学校教育等へ寄付しています。（1公演につき100万円前後）

2002年から累計で38(※)公演を開催し、来場者数は約35,300名となりました。

(※)昨年までの累計公演数に誤りがありました。ここに訂正いたします。

<2017年度の活動>

・4月23日、栃木県益子町にて、千住真理子氏（ヴァイオリン）、長谷川陽子氏（チェロ）、仲道郁代氏（ピアノ）公演を開催（第10回記念公演）。来場者889名、チケット収入を益子町、市貝町に寄付



・5月21日、和歌山市にて、横山幸雄氏（ピアノ）公演を開催。来場者1225名、チケット収入を和歌山市へ寄付

・10月22日、山形県酒田市にて、錦織健氏（テノール）公演を開催。来場者918名、チケット収入を酒田市に寄付

・11月26日、愛媛県西条市にて、千住真理子氏（ヴァイオリン）公演を開催。来場者1044名、西条市に寄付

その他の活動（コミュニティ）

●情報のバリアフリー

障害の有無に関わらず誰もが豊かな生活を送れるよう、バリアフリーの理解と共有をめざす活動です。



<2017年度の活動>

・日本点字図書館発行の会員向け音声情報誌「ホームライフ」に生活情報を提供し（12月）、社員3名が音訳ボランティアとして録音に協力

・バリアフリービデオ：寄贈15件。障害のある方々の生活の不便さを伝え、理解と共有を図る内容で、総合学習等の教材として活用

・生活情報音声CDの無償提供：55件

・点字シールの無償提供：276件



●福祉施設への製品寄贈

地域貢献と社会支援の一環として、花王製品を寄贈しています。

<2017年度の活動>

寄贈先：社会福祉協議会と連携して選定した団体。もしくは、社会福祉施設と、民間の運営する滞在型施設（病児家族滞在施設「ファミリーハウス」、あしなが育英会運営の滞在施設、民間運営の子どものためのシェルターや自立援助ホームなど）

7. 社員参加型の活動

<考え方>

花王は、社員一人ひとりが企業の理念をよく理解し、行動指針を身をもって実践していくべきだと考えています。社会貢献部では、社員が積極的にコミュニティとかかわり、社会的活動に参加できるよう機会を提供しています。

花王ハートポケット倶楽部

社員の社会への参加のきっかけとすることを目的としたプログラムで、地域社会との信頼関係の構築もめざしています。

倶楽部の趣旨に賛同した社員が会員となり、任意の金額を拠出して基金として積み立て、NPO・NGO・市民団体への寄付を通じて社会的活動に役立てています。災害時は、緊急の資金援助も行ないます。倶楽部の運営は、会員の代表である運営委員が担い、寄付先や基金の用途を決定しています。

社会的活動を資金面で応援する具体的な取り組みとしては、事業場立地地域では市民活動を支援する「地域助成」を栃木・和歌山・茨城で実施し、また、2013年からは大型助成「みらいポケット基金」で国際協力など規模の大きなプロジェクトを支援しています。

また、健康づくりに積極的に取り組む社員を応援する制度「QUPiOポイントプログラム」では、社員が取り組む健康づくりの活動を「QUPiOポイント」としてポイント化し、倶楽部を通じて、途上国の学校給食

支援を行なっている TABLE FOR TWO International や途上国の母子保健の環境改善に取り組む特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会など、途上国の人々の健康を守る取り組みへの寄付も行なっています。

また、社員がボランティアとして参加する取り組みとしては、絵本が不足している途上国の子どもへ絵本を贈る「絵本を届ける運動」や、途上国の女性の健康を守る啓発チャリティ・ファンラン「ホワイトリボンラン2017」、クリスマスを経験する病院内で過ごす病気の子どもたちへクリスマスカードを贈る「クリスマスカードプロジェクト」などを実施しています。2004年からの累計で591件、109,287千円を寄付しています。

ハートポケット倶楽部



<2017 年度の活動>

- ・2017 年 12 月現在の会員数：2,739 人
- ・運営委員会 12 回開催、48 件を支援
- ・地域助成(栃木・和歌山・茨城)：14 団体を助成。投票による選考に のべ 1,812 名の社員が参加。
297 名が助成先への応援メッセージ協力
- ・大型助成「みらいポケット基金」：4 団体を助成。15 名の運営委員が選考に参加
- ・ボランティア参加数：絵本を届ける運動 160 名、ホワイトリボンラン 2017 24 名、クリスマスカードプロジェクト 180 名（2017 年初の取り組み）
- ・助成先とのコミュニケーション：「みらいポケット基金」贈呈式を開催（2 月 16 日）、
栃木・和歌山地域助成贈呈式と報告会を開催（3 月 16 日・24 日）
- ・Qupio ポイントからの寄付（2017 年 1 月～12 月） 1,594 ポイント

花王グループ ピンクリボンキャンペーン



乳がんや女性の健康を応援したいと、化粧品の「店頭」という花王グループの持つ強みを活かした啓発活動です。

この活動は、2007 年に花王とカネボウ化粧品合同の社会貢献活動としてスタートしました。10～11 月に、花王ソフィーナ・エストのビューティアドバイザーと、カネボウ化粧品のビューティカウンセラーがピンクリボンバッジを着用し、化粧品店頭にご来店いただいたお客様に、乳がん早期発見の大切さを伝えるリーフレットをお渡ししています。これまでに日本のほか海外でも 8 か所の国や地域で活動を実施し、2007 年からの累計リーフレット制作は 802 万枚となりました。



化粧品店頭での活動以外にも、社会に広く情報を発信するために特設サイトを運営したり、商品の売り上げの一部を啓発活動に寄付したり、啓発活動に社員が参加するなど、独自の活動を行なっています。

<2017 年度の活動>

- ・10 月～11 月に化粧品店頭での活動を実施。日本のほかにも、中国・香港・台湾のソフィーナ、中国・台湾・タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピン・香港（オフィスのみ）のカネボウで実施
- ・キャンペーン特設 WEB サイトにて、乳がんの全般的な情報を集めたページを設置
- ・カネボウ スキングロスオイルウォーター1 本購入につき 100 円を認定 NPO 法人乳房健康研究会に寄付
- ・認定特定非営利活動法人 乳房健康研究会主催「ピンクリボンプラザ in 大阪」（9 月 24 日開催）に特別協賛

その他の活動（社員参加型の活動）

社員がコミュニティとかわることを応援し、活動参加のきっかけとなるよう、情報の提供や具体的な活動機会の提供を行なっています。

<2017 年度の活動>

- ボランティア情報サイト運営：社会貢献部で選定したボランティア情報、NPO 情報など、計 10 件発信。社員による活動の報告を 27 件掲載
- ボランティア参加機会提供：計 10 件、参加社員数 518 人

8. メセナ支援

<考え方>

文化や芸術に関わる活動を通して、人々の豊かな生活文化の実現に貢献するために、優れた芸術文化の発展と継承や、担い手となる次世代の育成の活動支援を積極的に行なっています。

若手芸術家育成支援

次世代を担う芸術家育成の活動を支援するため、東京音楽コンクールを主催（共催：東京文化会館・読売新聞社・東京都）し、日本の音楽界の次世代を担う人材の発掘・育成を支援しています。各部門優勝者がオーケストラと共演してコンサートを開催するほか、入賞者には、単独公演の開催を含め、公演機会の提供など、東京文化会館が5年間バックアップを行なっています。また、8月には、熊川哲也氏を総監督とするジュニア・カンパニー-K-BALLET YOUTHの第3回公演「眠れる森の美女」に特別協賛しました。K-BALLET YOUTHでは、次世代の才能あるダンサーの発掘とプロフェッショナル・カンパニーと遜色のない環境での実践の場を提供し、次世代の芸術家育成に取り組む活動をしています。



<2017年度の活動>

- ・K-BALLET YOUTH 第3回公演「眠れる森の美女」に特別協賛
- ・第15回目となるコンクールを開催。ピアノ、木管、弦楽の3部門で、応募総数479名、入賞14名

芸術文化活動支援

優れた芸術文化の発展と継承のために、国内の優秀な音楽・舞台公演と美術展開催を支援しています。

<2017年度の活動>

- ・舞台公演協賛：新国立劇場 特別支援企業グループとして協賛
- ・交響楽団への賛助：日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、NHK交響楽団定期演奏会
- ・音楽公演協賛：東京交響楽団定期演奏会、NHK交響楽団「第九」公演
- ・美術展協賛：「タイ展」（主催：日本経済新聞社）、
「北斎とジャポニスム」展（主催：読売新聞社）

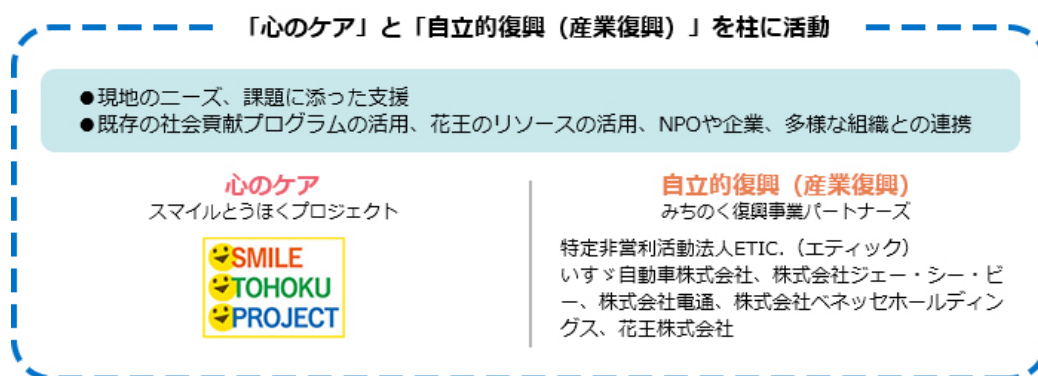


9. 東日本大震災への対応

<考え方>

東日本大震災からの復興支援として、既存の社会貢献プログラムや花王のリソースを活かしながらNPO・企業・多様な組織と連携し、現地のニーズや課題に添った活動を行ないます。

現在、「心のケア」と「自立的復興（産業復興）」の2つの柱で活動を継続しています。



※2018年4月現在

みちのく復興事業パートナーズ

2012年6月、企業がそれぞれのリソースを活用し、被災地で事業に取り組み東北を支えていく次世代リーダーを支援する企業コンソーシアムとして、特定非営利活動法人 ETIC.（エティック）によって設立され、現在、企業5社が参画しています（2018年4月現在*）。将来、東北のハブとなる事業団体に向けた研修を実施したり、コンソーシアムを通じて現地のニーズを可視化し、企業のリソースとマッチングしたニーズに合わせた支援を行ないます。また、毎年3月に、ETIC.と参画企業とが連携してシンポジウムを開催し、社会に向けた情報発信を行なうなど、現地の自立的な復興を支えています。

* <参画企業> いすゞ自動車株式会社、株式会社ジェー・シー・ビー、株式会社電通、株式会社ベネッセホールディングス、花王株式会社（2018年4月現在）

<2017年度の活動>

【コンソーシアム全体での取り組み】

・事業ブラッシュアップ・プログラム：これからの地域を支えるような特定テーマを牽引することが期待される5団体を選び、ビジョンと戦略を磨き、次のステージにステップアップするためのきっかけづくりの場を提供。9月、2月(2018年)に合宿開催。

・第5回みちのく復興事業シンポジウム：「セクターを超えた協働で地域社会の未来をつくる」をテーマに、セクターを超えた協働の先進地、東北で企業はどのような関わり方ができるのかを考える機会を提供。花王からも登壇。3月6日電通ホールにて開催、企業のCSR担当者・社会貢献担当者等182名が来場。社員12名参加。



【花王単独での取り組み】

・石巻市で「住民で支え合う地域の健康づくり活動」へ協力。

2016年5月から一般社団法人りぷらすが主催する「おたからサポーター養成講座」へ協力。この講座は「おたがいからだづくりサポーター養成講座」の略で、地域住民が介護予防や健康増進を自ら実践し、自分たちの地域の健康は自分たちで支えることをめざす活動です。花王は健康知見や健康支援ツールを提供し、この活動の効果検証を行なっています。



・2017年7月から、大規模な集団移転が予定されている石巻市川の上（かわのかみ）地区で、既存住民の皆さんの健康度向上とコミュニティ形成をサポートする取り組みを開始。

・第5回花王復興応援イベント：3月8日、茅場町本社で開催。

「いつまでも震災を忘れない」という思いのもと、今回はこれまでに行なってきた被災地での社員ボランティア活動にスポットをあて、「心のケア」「労働力の提供」「会社の知見を生かした支援活動」など参加者社員の気づきや学びを共有。支援先の団体の方にもご登壇いただき、花王グループ社員との交流を通したお話や東北の今についても伺いました。来場者 95 名



・花王 G 南三陸町ボランティア：被災地の見学と農業ボランティアの機会を提供。南三陸町の小野花匠園で10月7-8日の1泊2日で、第4回目のボランティアを開催。社員 22 名が参加



スマイルとうほくプロジェクト

東北の新聞社3社（岩手日報社、河北新報社、福島民報社）が主催する、被災地に笑顔を広げ、日本中に東北の元気を発信する「スマイルとうほくプロジェクト」に2012年より協賛しています。花王グループ社員による花畑づくりや、3県の仮設住宅を訪問し、花を植えたり、手洗い・ハンドケアなどを行なうなど、住民の方々と交流を深めています。



<2017年度の活動>

県の復興状況に合わせ、岩手県、宮城県では新たに、災害公営住宅で訪問活動を実施。今年はいままで行なってきた花植えや手洗い・ハンドケアの体験会に加え、新たに暮らしの中の清潔をテーマにした「ご家庭での除菌対策講座」も行ない、楽しい交流の機会を持ちました。

・岩手県2か所・宮城県2か所、福島県（仮設住宅）2か所、合計6か所実施。

10. 災害支援

2017 年度の花王グループによる主な災害支援

災害	会社	支援内容
九州北部大雨災害	花王（株）	発生直後に、社会福祉法人 中央共同募金会を通じて義援金 200 万円、社員寄付組織の花王ハートポケット倶楽部から 20 万円を寄付。
アメリカハリケーン (Hurricane Harvey)	花王（株）	被災者救援活動支援のため、アメリカ赤十字社へ花王(株)から 100 万円を寄付
タイ水害 (Flooding in Ayutthaya Province and Nakhon Si Thammarat Province)	花王タイ	被災者支援のため 20 万円相当の製品寄贈および社員ボランティア協力
インドネシア水害 (Bima Flash Flood)	花王インドネシア	被災者支援のため 20 万円相当の物品寄贈および社員ボランティア協力
インドネシア火事 (Aceh Earthquake)	花王インドネシア	被災者支援のため 15 万円相当の物品寄贈および社員ボランティア協力
インドネシア噴火 (Gunung Agung eruption)	花王インドネシア	被災者支援のため 10 万円相当の物品寄贈および社員ボランティア協力
アメリカハリケーン (Hurricane Maria)	花王アメリカ	被災者支援のため 110 万円相当の寄付および社員ボランティア協力
アメリカハリケーン (Hurricane Harvey)	花王スペシャルティーズアメリカズ	被災者支援のため 20 万円相当の物品寄贈、5 万円相当の寄付および社員ボランティア協力

11. 国内事業場、国内外グループ会社の主な地域貢献活動

① 国内事業場・国内グループ会社活動事例

●：社員参加 ○：製品・物品寄贈、寄付金 ◎：施設開放

	内容	活動
かやば	環境	●中央区タバコポイ捨て撲滅キャンペーン、中央区エコまつり、近隣清掃
	コミュニティ	○地域祭礼、夏休みラジオ体操、歳末たすけあい運動
すみだ	環境	●近隣清掃
	コミュニティ	●交通安全運動、施設見学 ○町会定期総会、地域祭礼、社会を明るくする運動、わんぱく相撲大会、地域祭り ◎近隣自治会消火訓練、
大阪	環境	●近隣清掃
	コミュニティ	○地域祭礼、地域団体
小田原	環境	●近隣清掃
	コミュニティ	●スポーツを通じた養護学校交流、ソフトボール教室、工場見学 ○酒匂川花火大会、ミュージカル地域公演協賛
酒田	環境	●○さかた産業フェア
	コミュニティ	●やまがた健康フェア、やまがた健康推進機構、工場見学 ○花王ファミリーコンサート、新生児紙オムツ寄贈、地域イベント・祭り、地域運動会、スポーツ大会、花火大会、酒田創意くふう展、庄内よいふるキャラバン ◎花王夏祭り
	メセナ支援	○酒田フィルハーモニー管弦楽団
栃木	環境	●近隣清掃
	教育	○町内小中学校に写真ニュース寄贈 ●○花王健康セミナー
	コミュニティ	●工場見学 ○地域イベント ●○新生児紙オムツ寄贈、夏祭り ◎保育園・小学校イベントへ駐車場開放
鹿島	環境	●神栖市「環境美化の日」「クリーンかみすの日」、海岸清掃、地域清掃
	コミュニティ	●工場見学 ○かみす市民フォーラム、地域イベント、かみす健康マイレージ事業、神栖市各種スポーツ大会 ●○かみすフェスタ
川崎	環境	●近隣清掃
	コミュニティ	●工場見学 ○町内会運動会、地域祭り・イベント、 ●○地域祭礼、親善バレーボール大会



中央区エコまつり（茅場町）



交通安全運動（すみだ）



小村井香取神社祭礼
子供みこし（すみだ）



かみすフェスタ（鹿島）

	内容	活動
豊橋	環境	●近隣清掃、豊橋 530 運動活動
	教育	●手洗い講座、子供のための科学展
	コミュニティ	●工場見学
和歌山	環境	●近隣清掃、和歌山港湾清掃 ●○花王企業の森除草と保全
	コミュニティ	●地蔵尊及び無縁仏供養、消防出初式、工場 見学 ○福祉工場運営支援、地域祭り・イベント、自治 会、熊野那智大社 ●○ファミリーコンサート、地域祭礼 ◎テニスコート一般開放
愛媛	コミュニティ	○地域祭り・イベント、西条市共同募金委員会、 新生児紙オムツ寄贈 ●○花王ファミリーコンサート、工場見学
有田 研修所	環境	●近隣清掃、海岸清掃
	コミュニティ	●児童クラブ ○健康祭り、老人クラブ、自治会、住民交流会、 地域祭り・イベント
品川	コミュニティ	●絵画展展示
エコラボ	教育	●薬学生・福祉看護学生学外実習、小学校社 会科見学、環境教育、親子教室
KCMK	環境	●近隣清掃 ●○環境に関するフェア・イベント、 切手・はがき・使用済みプリペード・キャップ回収
	コミュニティ	●メイクアップセミナー、地域イベント・スポー ツイベント、献血
ロジス ティクス	コミュニティ	●交通安全啓発、献血、施設見学、近隣清掃
KPS	教育	●手洗い教育、講義・演習のための講師派遣 ●◎看護師キャリア開発講座
	コミュニティ	●衛生に関する情報交換会・情報発信
カネボウ	教育	●ランニング教室 ●○Walk in Her Shoes キャンペーン協賛、 養護学校・施設でメイク講座
	コミュニティ	●エステティック技術応援、マラソンのゲストラン ナー・ペースメーカー ○青少年福祉センターへ成人式の商品寄付 ●○チャリティイベント



手洗い講座（豊橋）



工場見学（豊橋）



紀の川一斉清掃（和歌山）



親子教室（エコラボ）

②海外グループ会社活動事例

●：社員参加 ○：製品・物品寄贈、寄付金 ◎：施設開放

エリア	会社	内容
中国	<ul style="list-style-type: none"> ●Kao (China) Holding ●Kao Commercial (Shanghai) ●Kao (China) Research and Development Center ●Kao (Hefei) 	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ●○節水啓発活動 <p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家庭品啓発講座 ●○初経教育、大学生日本語スピーチ大会支援 <p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●工場見学 ○恵まれない大学生・家庭支援、Enactus 支援 ●○母子衛生健康教育、組合との連携、大学生に向けキャリア教育支援、地域住民参加の納涼祭
	<ul style="list-style-type: none"> ●Kao Chemical Corporation Shanghai ●Huludao Jinxing Casting Material 	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣・河川清掃 <p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域と連携した消防・防災訓練、献血活動、工場見学 ●○納涼祭
	<ul style="list-style-type: none"> ●Kanebo Cosmetics (China) 	<p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○慈善スーパーへの寄付、チャリティイベント、日本大使館イベント支援
香港	<ul style="list-style-type: none"> ●Kao (Hong Kong) 	<p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障がい児支援、福祉支援団体への製品寄贈、恵まれない子供たちや障がい児のための支援
台湾	<ul style="list-style-type: none"> ●Kao (Taiwan) Corporation 	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ●海岸清掃 <p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校でのお掃除講座 ○地方の学生への支援 <p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●工場見学、会社紹介 ○ピンクリボンキャンペーン、地域支援、障がい者支援財団への寄付
	<ul style="list-style-type: none"> ●Taiwan Kanebo Cosmetics 	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ●海岸清掃 <p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ピンクリボンキャンペーン、社会福祉施設への物品寄贈



節水啓発活動（中国）



Enactus 大学生企業活動（中国）



納涼祭（上海 CH）



Start from Kao（台湾）

エリア	会社	内容
ベトナム	・Kao Vietnam	教育 ●初経教育 コミュニティ ○子ども福祉のためのニューイヤーカード購入 ●○衛生環境改善の支援
フィリピン	・Pilipians Kao	環境 ●○マングローブ植林 教育 ○高校生・技術専攻大学生への奨学金提供 コミュニティ ●工場見学 ○工場近隣の小学校・高校の修繕への寄付、地域住民の医療受診支援、赤十字を通じた支援、地域伝統文化支援
タイ	・Kao Industrial (Thailand)	環境 ●清掃活動 教育 ●○手洗い講座 コミュニティ ●健康な生活のためのキャンペーン、工場見学 ○NPOへの製品寄贈、学校へ製品の寄贈 ●○農村部の学校のトイレ改装・改築支援、災害支援
	・Kanebo Cosmetics (Thailand)	教育 ●企業見学 コミュニティ ●ピンクリボンキャンペーン
マレーシア	・Kao (Malaysia)	教育 ●○初経教育
	・Fatty Chemical (Malaysia) ・Kao Plasticizer (Malaysia) ・Kao Oleochemical (Malaysia) ・Kao Soap (Malaysia)	環境 ●○植樹活動 教育 ●○中学校での環境啓発 コミュニティ ○チャリティイベントへの支援、障がい児絵画購入、消防隊員組組合 ●○高齢者施設・児童養護施設・障がい者施設との人的交流と製品寄贈、病院と連携した献血、工場見学
	・Kanebo Cosmetics Malaysia	コミュニティ ●○ピンクリボンキャンペーン



初経教育（ベトナム）



小学校の修繕（フィリピン）



学校のトイレ改装（タイ）



植樹活動（マレーシア CH）

エリア	会社	内容
シンガポール	・Kao Singapore Consumer Products/Chemical	環境 ○イベントに出展 教育 ●○小学校での掃除・洗濯・手洗い講座 コミュニティ ○流通を通じた製品寄附 ●○高齢者住宅への掃除支援
インドネシア	・PT Kao Indonesia	教育 ●○子どもの衛生と健康プログラム コミュニティ ●○地域祭事、絵画コンテスト、災害支援、工場見学
カナダ	・Kao Canada	コミュニティ ○チャリティイベントへの製品支援、動物保護などチャリティ団体へのマッチング寄付、製品寄贈 ●○職業訓練校のプロムでのヘアメイクサービスなどの支援・物品寄贈
アメリカ	・Kao USA	環境 ●○地域清掃 コミュニティ ●○慈善活動団体を通じた支援、地域の芸術・恵まれない子供などへの支援、早産防止等研究への支援、赤十字を通じた災害支援
	・Kao Specialties Americas	環境 ●ハイウェイクリーンアップ ○植林による動物保護活動への支援 教育 ○日本語スピーチコンテスト ●○働きながら大学進学を目指す高校生のための職業訓練支援 コミュニティ ○慈善活動団体を通じたホームレス支援 ●○献血、ユナイテッドウェイ委員会への支援、災害支援、慈善ゴルフ大会への支援、商工会議所への支援、スペシャルオリンピック選手・軍関係者・大腸がん検診増加のためのマラソン・若い糖尿病患者のためのイベント支援



手洗い講座（シンガポール）



高齢者掃除支援（シンガポール）



清掃活動（米国）



災害支援（米国 CH）

エリア	会社	内容
メキシコ	・Quimi-Kao, S.A. de C.V.	コミュニティ ●工場見学 ○福祉支援団体を通じての寄付 ●○フードバンク支援、AIDS の子ども支援団体の支援と寄付、恵まれない子どもへの支援、高齢者施設支援
ロシア	・Kanebo Cosmetics Rus	コミュニティ ○学校文化活動・モスクワ日本大使館での弁論大会への製品寄贈
ドイツ	・Kao Germany GmbH	コミュニティ ●○恵まれない子ども・難民の子どもたちへの支援、助けを必要としている家族への支援、幼稚園の園庭・施設改装支援
	・Kao Chemical GmbH	教育 ○学校や大学への寄付 コミュニティ ●工場見学 ○スポーツ大会・地域の伝統文化・学校・障がい者雇用・高齢者福祉への支援、事業場地域振興促進
	・Kanebo Cosmetics Deutschland GmbH	コミュニティ ●○日本大使館イベント支援
スイス	・Kao Switzerland AG	コミュニティ ○パラリンピック選手支援、障がい者支援
	・Kanebo Cosmetics (Europe)	コミュニティ ●○女性のがん啓発のためのゴルフ大会支援
スペイン	・Kao Corporation S.A.	環境 ○植林キャンペーン支援、種の多様性を保護するための竹駆除支援 教育 ○化学専攻の高校生への助成金、学校への教育支援 コミュニティ ●工場見学 ○市議会の冊子発行支援、赤十字・フードバンク支援、市議会の歴史冊子発行と伝統音楽コンサート支援、子どもサッカーチーム支援



大使館イベント（ロシア）



幼稚園の施設改装（ドイツ）



パラリンピック選手支援（スイス）



植林キャンペーン支援（スペイン）



教育支援（スペイン）

エリア	会社	内容
デンマーク	・Kao Denmark A/S	<u>コミュニティ</u> ●○ホームレスのヘアカット支援
オーストリア	・Kao Austria HGMBH	<u>コミュニティ</u> ○心臓病の子供たちを支援する団体への寄付
フランス	・Kao France	<u>コミュニティ</u> ○福祉支援団体への製品寄贈
ベネルクス	・Kao Netherland B.V. ・Kao Belgium N.V. ・Guhl Ikebana Netherlands B.V.	<u>コミュニティ</u> ●チャリティへの参加支援 ●○病気の子どもたちにウィッグを提供する財団のイベント支援



ホームレスのヘアカット（デンマーク）



アカデミーでのヘアカットイベント（ベネルクス）